



青年部の紹介

安原工業団地協同組合青年部

部長 北村直樹

<安原工業団地協同組合青年部の概要>

組合青年部は平成13年に設立していますが、町会青年部としては平成7年に設立しています。青年部としては16年の月日が経過していますが、組合青年部としては平成13年から活動を開始しております。設立当初は42名にて発足し、この10年の間に卒業された方、又は新しく入られた方併せて平成23年度からは27名の部員にて活動しています。主な活動としては、総会、新年会、ソフトボール大会の運営、経営勉強会、視察旅行、源助大根の収穫祭などを行っています。青年部では新入部員を募集しております。情報などありましたら、是非ご一報いただきたく思いますので、宜しくお願いします。

<源助大根の収穫祭>

組合青年部として、何かもっと安原工業団地を活性化させることができないだろうか、もっとPRすることができないだろうかという事で、青年部で何度も話し合い、安原の名産である「源助大根」を栽培することにしました。同じ安原地区で営みを共にしている地元農家の皆さん、近隣の幼稚園、保育園の皆さん、そして安原工業団地の皆さんと交流をはかり、又、子供達には地元の名産を知ってもらう事と、安原工業団地のPRを図る事を目的としています。平成17年度から毎年10月に行われ、平成23年度の実施を含め通算で7回収穫祭を行っており、今では毎年恒例の行事として、そして皆さんに楽しみにももらえる行事として定着してきたのかなと感じています。

<その他の活動>

昨年からは新しい取り組みとして「経営勉強会」を企画して実施しました。昨今の変化が激しい時代の中で、勝ち残る企業になる為にはどうすれば良いかを考える大きな機会を、安原工業団地の皆さんに提供できれば良いなと思っています。又、昨年は中国（大連）を視察してきました。益々グローバル化していく時代の中で日系企業の多くが中国へ進出しています。世界の工場とされる中国、世界最大規模の市場として魅力ある中国の現状を、この目で見て、体験してまいりました。大連に滞在している北陸銀行の大間知和能様から中国の最新経済事情を伺うことができ、非常に勉強になる研修の旅となりました。

青年部の活動は部員の交流、意見交換はもちろんですが、安原工業団地の活性化及び、地域の方々との交流も目的としています。皆様方には青年部の活動にご理解を頂き、今後ともご協力をお願いいたします。

新年懇親会「金沢都ホテル」で開催

日時：平成24年1月6日(金) 18：30～ 出席者：66名



平成24年度の町会長に7班の金城建具工業(株)代表の中田和幸氏が選出され、新しい年の体制が報告されました。最初に米澤卓也理事長及び紙本敬章町会長の挨拶の後、来賓として出席された金沢市長山野之義氏をはじめ県議会議員下沢佳充氏、市議会議員井沢義武氏のごあいさつ、安原地区町会連合会長西川昇氏の乾杯のご発声と続きました。

テレビや新聞で話題の御供田幸子さんの「婆ちゃんコント」で明るい笑いがおこり、また短い時間ではありましたが、山野市長は全テーブルを回り懇談されました。会場は終始和やかに新年の懇親会が行われました。

今年は「辰年」です。町会の各企業の皆様また安原工業団地の組合員の皆様が一丸のごとく飛躍できる年に成りますように前を向いて笑いを忘れずに頑張りましょう。

(H.K記)



企業経営動向に関するアンケート調査報告

～厳しい状況から若干改善されているが緩やかなデフレの影響に注意が必要～

今年度も恒例の組合員各社の経営動向調査のアンケート結果が集計されました。

調査企業は全組合員191社のうち106社(55.5%)から回答がありました。調査結果の概要は下記のとおりです。

前年度調査と比較して、「売上高」「採算性」悪化は昨年度より更に減り、やや改善傾向がみられる。「仕入価格」が上昇との回答が31.37%(前年度31.25%)とほとんど変わらず、「販売価格」下落も38.78%(31.68%)と改善されている事から、企業の収益は若干改善している。

なお、現時点での「操業度」100%以上が27.27%

(24.49%)で増加、また「受注残」は0.5ヶ月～1ヶ月未満が61.46%(40.86%)と増加しており、「資金繰り」が窮屈との回答は23.08%(27.72%)と減り、厳しい状況から若干改善されているが、緩やかなデフレの影響が懸念される。

後継者については未定が51.46%(48.0%)で増加している。

また政府の1月発表の月例経済報告によると、先行きについては、各種の政策効果などを背景に緩やかな持ち直し傾向が続くことが期待されるとの報告である。

工場団地における建物の 防火対象物説明会を開く 38企業 40名参加

平成23年9月1日(木)金沢市異業種研修会館第1研修室において、安原工業団地協同組合と安原工業団地町会との合同で「工場団地における建物の防火対象物説明会」を開催しました。

はじめに、紙本敬章町会長が、防火設備の不備は大変危険なことでもあり、また万一の火災の時、事業主には計りしれない責任がかかると挨拶されました。

説明会では、金沢市金石消防署の坪野英幸消防司令が、防火設備等設置違反の事例をあげて説明し、最後に工場の増築、渡り廊下の設置、中2階の増築等を計画する際には、自己の判断や生半可な知識によらず、まず消防署に事前相談してほしいと説明された。消防査察により改善命令が出された場合、出費も重なり、万一の場合大変なことになると締め括られた。

富山県高岡市より 団地視察と企業訪問

平成24年1月20日(金)、協同組合福岡金属工業団地(組合員12企業)より、寺西明雄理事長ほか6企業



14名が来訪され、当組合役員と懇談の場を持ちました。

当組合からは、米澤理事長、各副理事長と事務局長、職員が対応に当たり、当組合の運営や事業の説明をしました。視察団の方々には団地内の情報システム(ホームページ)や情報発信、青年部、女性部の活動に興味を示していました。

その後、暁化学工業(株)を1時間程度見学をされ、米澤社長に色々質問されていました。

各企業の方々には、実に有意義な訪問でしたと挨拶され、次の訪問先石川県鉄工団地協同組合へ向いました。

訪問企業名 三雄工業(株)、(株)フジタ、ハリタ金属(株)、(株)スパングル、(株)ヨツヤ鉄工所、大石鉄工所、事務局、富山県中小企業団体中央会

金沢市工業団地連絡協議会・安原工業団地協同組合 合同視察旅行

異国情緒あふれる町・神戸のものづくり ～鉄の職人とロボット技術者に学ぶ旅～

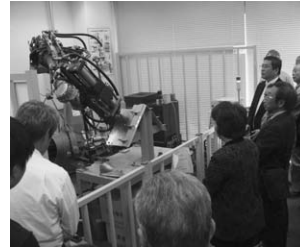
今年の視察研修旅行は、当組合メンバー10名を含む26名が参加して実施されました。



10月28日(金)金沢を出発。三宮で昼食の後、神戸鉄工団地協同組合を視察しました。この団地は神戸市最初の工場団地で28社で構成。注目したのはその事業内容で、組合会館運営の他、共同事業として、食堂、駐車場、従業員宿舎、通勤バス、ガソリン購入、関西電力との契約による受変電配電事業等多彩なもので、賦課金は無く、配電事業収益を各社に分配しており、組合員は大きなメリットを受けています。

工場見学は、特殊金網とパンチングメタルで高い技術を誇る(株)奥谷金網製作所と油圧ポンプやモーターの部品を専門製作している神戸造機(株)を視察させて頂きました。視察

後、神戸東急インホテルにチェックインし、夕食会場の群愛飯店へ向いました。



翌10月29日(土)は北野異人館周辺を散策。風見鶏の館では館長さんの丁寧な説明を受け、その後、高丸工業(株)の尼崎ロボットテクニカルセンターを視察。高丸社長からロボットに対する熱い思いが語られ、実演を見て効率性と精度の高さに驚嘆するとともに、人がする作業を単純にロボット化してもうまくいかない事も体感しました。

関西の中小企業が元気と言われ、また他国がまねをできない高い技術力を保持していることを目の当たりにし、大いに触発を受けて帰りました。(K.O記)

前金沢市異業種研修会館長松村文夫氏 秋の叙勲受章

平成23年秋の叙勲(瑞宝中綬章)で受章の荣誉に輝いた。金沢大学教授時代は、工作機械の回転軸にも応用されている磁気浮上の研究をけん引し、研究環境整備を推進された。

平成23年3月まで金沢市異業種研修会館長を勤め、技術相談や総合アドバイザーとして活躍され中小企業の活性化に貢献されました。誠にありがとうございます。

第32回安原工業団地協同組合主催(町会協賛) ソフトボール大会

本年度の大会は当初は9月4日(日)の予定でしたが、台風の影響の為延期になり、9月18日(日)安原小学校グラウンドにて、開催されました。

順延となったため6チームリーグ戦で行いました。熱戦の末決勝では(株)金石製作所が班チーム(二・三・四班)を制しました。



なお、成績は下記の通りです。

優勝 (株)金石製作所 **準優勝** 班チーム(二・三・四班)

第1回組合・町会交流 ゴルフ大会を開催

初めての試みとして、合同のゴルフコンペを小松市のゴルフクラブツインフィールドズにて平成23年9月19日(月・祝)開催致しました。



3.11の大震災等の災害もあり、景気の完全回復とはいかず、落ち込みムードの中ではありますが、あえてこの時期にこの会を立ち上げて回復するきっかけの雰囲気づくりの一つとして企画したところ、45名の多くの参加を頂きまして、和気あいあいの中さわやかにプレーを楽しみ親睦をはかりました。

プレー後、表彰式及び懇親会はテルメ金沢で行い初優勝は(株)高橋ブッサンの高橋昇二氏が栄冠に輝き、2位は池田秀樹氏(ハイテクス工業(株))、3位は坂下三義氏(坂下機工)でした。皆様の盛り上げで、親睦をはかることが出来たのではないかと思います。

これを機に皆様のご協力を頂きながら、来年度からも続けていくことが出来ればと考えております。(H.I記)

「おもてなしの心」先代女将に学んだ事



文化講演会が平成23年11月15日(火)午後6時30分から金沢市異業種研修会館で開催されました。安原地区各種団体の協力もあり参加者は131名で女性の参加が多かったようです。講師には加賀屋客室係教育リーダーの岩間慶子氏(源氏名 長子さん)をお招きしてお話を頂きました。

昭和45年青森県から、加賀屋に入社して以来、奮励努

力し、加賀屋発展の為に従事してこられました。日本一の旅館という評判も先代女将小田孝に学んだおもてなしの心、心配り、心配りを基本にした客室係のサービスがあったからこそ。昨今他人を思いやる子供が少ないと嘆き、どうしたら喜んでもらえるか思いやることは、もてなしの心に繋がることだとも話してくださいました。また長子さんは「1人1人が経営者」という気持ちが大切で、常に明るく笑顔で対応し、身も心も惜しまず職場に奉公する事により皆様方からの信頼と感動を得られるとも話されました。(K.I記)

青年部
活動報告
9月18日(日)
「ソフトボール大会」

安原小学校グラウンドにおいて安原工業団地協同組合主催、安原工業団地町会協賛にて第32回ソフトボール大会が行われ、設営、運営をさせていただきました。猛暑の中、白熱した試合が展開され、(株)金石製作所が優勝しました。

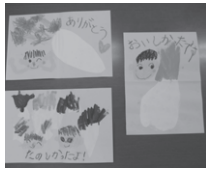

9月22日(木) 「経営勉強会」

金沢市異業種研修会館にて26名が参加し「経営勉強会」を開催しました。

(株)日本政策金融公庫 小谷健太郎氏をお招きし、「成長を続ける企業は何かが違うのか」と題して、金融機関から見た良い企業とは何かをわかりやすく説明して頂き、今後の会社運営の参考になった勉強会になりました。

10月21日(金)
「加賀野菜 源助大根収穫祭」

本年度はみどりかわい幼稚園の園児たちと楽しく大根の収穫をすることが出来ました。天候が心配されましたが当日は奇跡的に晴れ間が覗き、元気一杯の園児達と共に大根を抜いていき、収穫する喜びを感じていただけた様です。今年度の源助大根は順調に育ち、大きき的にも程よい感じに成長し、味の方も大変おいしかったと思います。組合の皆さんにも喜んで頂けたと思います。来年度も行う予定ですのでご協力お願いします。


11月11日(金)～13日(日)
「中国(大連)視察旅行」

世界の工場とされる中国、又、世界最大規模の市場として魅力ある中国の現状を把握する目的で視察してきました。(9名参加)


11月29日(火) 「金沢モノづくりセミナー」

金沢市大手町のKKRホテル金沢で開催された金沢市工業団地連絡協議会、金沢市産学連携事業運営委員会共催事業のセミナーに5名参加しました。

金沢大学人間社会研究域法学系教授の大友信秀氏が「ブランディングづくり」と題して、これからの企業にはそれぞれのブランドづくりが大事であるとし、そのための視点や、着想づくりのヒントを具体的な事例をもって話されました。

2月10日(金) 「新年会」

平成24年度新年会を「食彩 赤まんま」にて13名の出席で開催致しました。北村部長の挨拶からはじまり、役員間での情報交換や交流を図りました。

女性部
活動報告
平成23年10月16日(日)

第1回研修会は、15名参加で、北陸の小京都越前大野の町並みと福井に息づく伝統の技を訪ねて来ました。ボランティアさんの案内で朝市と町並みの散策、そして高原の時計台で、チーズ作りを体験しました。指導委員さんのもと、わいわい童心にかえり楽しく体験し美味しく頂きました。その後「漆器伝統産業会館」「うるしの里」を見学し、国産の見分け方など教えて頂き、「鯖江めがね博物館」では、明治のころメガネは手作業で作られており元職人の語り部の方に手順を説明して頂きました。


10月20日(木)～21日(金)

レディース中央会全国フォーラムin大阪に、女性部より3名参加しました。会場はホテルニューオータニ大阪で開かれました。事例講演は、講師：株式会社青木松風庵 代表取締役 青木啓一氏で、「おいしいお菓子を作りたい」のテーマで講演して頂きました。あと「西新道錦会商店街振興組合」「京つけもの西利本店」「三井アウトレット滋賀竜王」を回り有意義な視察でした。

11月26日(土)

女性部事業の一つ、緑化推進による幹線道路のプランターに葉ボタンを植え替えました。

12月15日(木)

会員にシクラメンを贈呈いたしました。

平成24年2月3日(金)

第2回研修会は、20名が参加で「ヴィラグランディスウエディングリゾート金沢」にて多彩な分野で活躍中の「Heart&Heart竹」代表の竹川操枝氏をお迎えして、女性、主婦の視点で取り組む防災のお話をして頂きました。防災対策も勿論ですが、減災対策がとても大切だそうで竹川さんの自宅を事例にスライドで説明して頂きました。その他防災グッズも見せて頂きユニークなのは、古くなったセーターで作るリュックサックです。首の部分を閉じ、袖口を裾に縫い付け、裾の部分に紐を通し縛れる様にした物で逆に担ぎ、両袖にタオルを入れると出来上がりです。寒い時は着ると温かく、タオルは汗を拭たり色々使えて便利だそうです。透明のごみ袋も火災の時は、煙を吸わないように頭からかぶり、雨の日はカッパになり、水を運ぶことも出来き、常備しておくことを勧めていただきました。



日頃からの防災対策に出来る事から準備が大切と痛感しました。

緑化事業に、ご協力ありがとうございます、3月に幹線道路にプランターの花を植え替えます。今後ともお手伝いよろしくお願いします。

あ と が き

東日本大地震より1年になります。地震は取まるどころか頻繁に起きています。金沢の人は危機感が薄いとかが言われています。災害時に必要なものは何か、災害にもいろいろ有ると思いますが、昔から地震、雷、火事、親父(今は津波かな)いざと言う時の為に、防災意識を高めましょう。(K・I記)

発行責任者 米澤 卓也
編集委員 池田 秀樹、池野 菊枝、岩上 伸人
大平 邦久、北村 直樹、越野 英司
田中 泰、入口 吉男、山口美枝子